

新入生諸君へ お祝いにかえて

総合科学部・自然システム学科・教授 **まえ** **だ** **り** **茂**

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。総合科学部では、皆さんが大学生活に早く馴染んでもらうために、合宿研修を始めとして幾つかのガイダンスが行われます。これらを活用して、新しい生活に力強く踏み出して頂くことを期待しています。

自ら考える姿勢を

ところで、高校と大学と一体何が違うのでしょうか？ 一見、教えられたことを覚え、試験やレポートに通つてというサイクルは同じなのですが、これからは自分で考え、自学自習をするという姿勢が非常に重要になります。多くの人は教えられた範囲でものを考えるという習慣が身につけているでしょうが、是非もう一歩進んで、自ら考え、実行するという態度を身につけてほしいものです。何事もまず覚える、真似ることから、といたします。それは対象の基本を知り、基礎知識を習得するということで、自ら考え答えを出せるようになるための素養を形作る基礎過程なのです。学問や科学技術に進歩があるのも、従来のもを知って、更に改良改善する、あるいは新たに創出するにはどうすればいいのか、という動機や欲求が底にあることが非常に多いの

です。口幅つたい言い方ですが、若人がこの姿勢を身に付けることが、これからの日本にとって必要なことでしょう。

自分の希望や適正をよく考えて

総合科学部では2年生からコースに所属になります。ここから本格的に専門教育が始まる訳で、それまでに1年生の間に自分の希望や適性をじっくり考える時間があります。この間、共通教育科目で幅広い教養を身につけ、1年次に配当されている専門科目で専門への基礎知識を身につけることができます。数年前、専門性の重視という視点も織り込む形で、カリキュラムの大幅な改正があったのですが、その結果コース分属後に、更に時期はコースによって様々ですが、サブコースに所属して専門性の高い教育を受けようという形態になりました。新入生諸君には先の話になりますが、こういう過程を経て卒業ということになります。

環境を上手に活用

総合科学部には、人間社会学科・自然システム学科という文系・理系の2学科があり、それぞれの学科内にも様々な分野があります。それに応じて、卒業生の

進路も様々です。中高教員、公務員といった進路に進む人は今でも多くいるのですが、大学院への進学や民間企業への就職といった方面も大いに開拓されており、卒業生が就いている職種は多岐に亘っています。総合科学部では専門性を重視する一方、狭い学問分野にとらわれないうで幅広い分野の内容を習得できる環境にあります。そういう特質を上手に活用して、いろんな変化にも対応できるように、自らを成長させ、将来への糧としてほしいと思います。皆さん一人ひとりの人生を描くのは皆さん自身ですから。

終わりに

よく言われることですが、大学時代の友人は一生の友になるといいます。失敗を恐れず、好きなことに打ち込めるのも青春時代の特権でしょう。その中で得難い体験をし、友人を得、世の中のルールを知っていきます。学問やスポーツは勿論ですが、アルバイトを通じても学ぶことはあります。入学時にはつきりとした目標を持っている人はそれに向けて、そしてまだ明確な指針を持っていない人はこれからの努力・体験でそれを掴むようにして、是非実り多い大学生活を送ることを期待しています。